

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：フレンド金沢文庫保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：橋本 富士子	定員（利用人数）：34名（32名）
所在地：〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東2-16-30	
TEL：045-782-3421	
ホームページ：https://friend-kanazawa-bunko.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成26年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社フレンド楽器	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員： 10名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 栄養士：1名
	主任：1名 調理士：2名
	保育士：15名 事務：2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：3室 （設備等）トイレ：子ども用3 大人用1 調理室：あり 事務室：あり 園庭：あり

## ③理念・基本方針

## （理念）

- ・保育運営にあたり保育所保育指針を厳守し、保育を行うものとする。
- ・乳児（0～2歳児）の大切な時期を保護者と協力し、無償の愛で子どもたち一人ひとりの個性を大切に心身共に育つ保育を心がけるよう努める。
- ・保育目標を踏まえ家庭との連携・コミュニケーションを充分はかり質の高い保育を提供するよう努める。
- ・利用子どもの属する家庭及び地域との結び付きを重視した運営を行うとともに、その支援を行い、都道府県、市町村、小学校、他の特定教育・保育施設、地域子ども・家庭支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者との緊密な連携に努める。

## （保育方針）

- ①乳児期に最も必要な感性を音楽の溢れる環境の中で育む。
- ②子どもの発達に合わせ、遊びを通して想像力や自主性を養う。
- ③それぞれの子どもの個性を大切にしながら、思いやりの心を育てる。
- ④養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- ⑤子どもが健康、安全で情緒の安定した生活が出来るようにご家庭との連携を作る。
- ⑥情操教育の一環として、音楽教室・英語教室を実施する。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・月に音楽教室（3回）英語教室（3～4回）を行っており、独自のプログラムを体験する機会がある。
- ・園庭が狭い事もあるが、逆に外で歩く機会や公園、お山で体を動かす時間を沢山とっている。また、保育園の周りには海の公園や自然公園、六国峠、称名寺など自然豊かな所にもお散歩に出かけている。
- ・子どもに声をかけすぎず、手伝いすぎず、なるべく見守り子どもの集中している物を尊重し達成感を味わえるような保育を心がけている。
- ・子どもたちのエピソードを毎日記入し、子どもたちの成長を楽しく分かりやすいよう記入している。
- ・主任から見た子どもたちの様々な場面の姿を「保育のつぶやき」として張り出し、保護者にも伝えている。
- ・生花を玄関に飾り、本物に触れることができ、保護者の方にも心のやすらぎを感じてもらえるような取り組みをしている。また、玄関前にはプランターに季節の花を植えて、地域の人にも花を楽しんでもらえるようにしている。
- ・給食のメニューには、郷土料理や行事食も提供している。行事食などは味はもちろんだが、見てたのしめるような食事やおやつを出している。
- ・遠足の行事食は給食室で一人一つのお弁当を作っている。また、2歳児クラスのお別れ遠足は最後に1回だけ保護者に協力してもらい、保護者の作ったお弁当をお願いしている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月19日（契約日）～ 令和4年3月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（2016年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1)子どもの生活と遊びを豊かにする保育を実践しています

0～2歳児クラスまでの低年齢の子どもたちがいろいろな経験ができるようにしています。園がある金沢文庫周辺の環境を活用し、公園のほか、六国峠、寺など積極的に出かけています。園では情操教育の一環として専門の講師による音楽教室と英語教室を行っており、その時は全園児・職員と一緒に楽しんでいます。また、近隣の店、園医、ごみ収集の人に勤労を感謝するプレゼントを渡したり、図書館を利用したり、おもちゃの病院に行きハンドベルを直してもらったり、社会体験を重ねています。

#### 2)「食」を通して子どもが育つ保育を行っています

「食」に力を入れ、園の強みにしています。献立は栄養士が栄養面だけでなく、季節感、地域の食文化、年中行事なども考慮し立てています。低年齢の子ども達の五感を刺激し、視覚からも食欲がわくよう盛り付け方や彩りも大切にしています。午後のおやつも手作りにこだわり、パンは生地から作ったり、子どもたちが知っている動物を型どったり、子ども一人ひとりのマークをトッピングしたり工夫を凝らしています。また、子どもたちはニンジンやカブなど野菜の栽培や、給食に使う野菜の皮むきなど食材に触れる機会もあり、楽しみながら食への興味関心を育てています。

#### 3)「見守る保育」のために取り組んでいます

長以下開園時から勤務をしている職員が多く、子どもを「見守る」ことを常に念頭に置きながら安定した保育の提供を心掛け、さらなる保育の質の向上、保育実践の改善、専門性の向上に努めています。例えば、「保育園独自の課題（取り組み）」シートにより、子どもたちが気付いて使いたくなる、やりたくなるような、保育の準備をしているか、笑顔の保育を心がけているか、など毎月14項目の自己チェックを行っています。個別指導計画は、子どもの発達や状況、育てたい内容に沿っているかななどを職員間で確認し、見直しと検討を行っています。日々の個別記録（日誌）にはクラスの印象に残ったエピソードにタイトルをつけて記載し、職員間で共有をしています。

### ◇改善を求められる点

#### 1)理念などの保護者・職員との共有

来年度に向け、子どもの人権を尊重し、園の目指す方向、考え方をより分かりやすい内容で伝えることができるよう職員間で話し合い、理念・方針・目標を見直すこととしています。園の方向性や具体的施策を示す中長期計画・事業計画を明らかにして、見直し後の理念とともに、保護者→職員への周知と共有が望まれます。

#### 2)さらなる環境整備

保育室はオープンフロアをロッカーやパーテーションで仕切っており、子どもがくつろいだり、落ち着いて過ごせる場所の確保が難しい時や、トイレが1ヶ所で、クラス活動の状況によっては、混雑してしまうという課題があります。子どもが心地よく過ごすことのできるさらなる環境整備が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

フレンド金沢文庫保育園は開園してから8年目となり、2回目の第三者評価の受審となりました。

共通評価は、責任職としての園運営、基本姿勢、運営管理など、保育所としてのあり方を学ぶことができました。課題となった保育の運営面について中・長期計画を策定していきたいと思います。

内容評価（保育）に関しては、0～2歳児の保育園の為、3.4.5歳児の実際の姿を見る事はできませんが、3歳児以降の見通しをもって、2歳児までの子どもたちができる事を考え、「見守る保育」（子どもたちの力を信じること）を行っている点を評価していただいた事は嬉しく思います。これからも、保育士が保育を楽しみ、子どもたちがわくわくできる環境を作り、職員一同、日々の保育取り組んでまいります。

また、今回の評価で、明確になった課題点や改善点に対して、丁寧に対応していき、保育の質の向上を目指していきたいと思います。

最後に、保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。また、評価機関のスタッフの皆様には、丁寧に観察、評価していただき感謝申し上げます。

園長 橋本富士子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり